



学校法人聖經学園

日本聖書神学校

日本基督教団認可神学校



学校案内 2021

Japan Biblical Theological Seminary

基本理念

日本聖書神学校は福音主義キリスト教の立場に立ち、主の教会の委託を受けて、聖書に基づき、深い信仰と、誠実かつ熱心な神学研鑽、歴史的現実への洞察と他者に共感できる感性を兼ね備えた、福音宣教への召命に応えようとする伝道者を養成することを目的としています。

献身の志を与えられた皆さんへ



校長 じんぼ のぞみ
神保 望

「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」（ルカによる福音書4章18～19節）この聖句は、ガリラヤで伝道を開始されたイエス・キリストが預言者イザヤの言葉を引用されつつ語られた福音宣教への招きの言葉です。日本聖書神学校創立の歴史的背景には、第二次世界大戦によって廃墟と化した日本と言う大変厳しい現実があったのであり、そうした虚無的な状況にあって先人たちが神学校創立の決断をしたのには明確な理由がありました。それは、福音を宣べ伝えると言う福音宣教の働きにのみ真の希望を見ることが出来たからです。

爾来日本聖書神学校は、キリストの十字架と復活の信仰にかたく立ちつつ、福音宣教への主の御招きに応える努力を続ける中で、諸教会における礼拝・伝道・牧会・教育への責任を十分に果たす伝道者、また今日の社会の只中において示された課題に対して隣人と共に取り組み、主の御心に適った奉仕の業を誠実に果たすことの出来る伝道者を養成して来ました。そして、創立以来大切にされて来た基本理念に常に立ち返りつつ、これからも伝道者養成と言う光荣ある務めを主の励ましと導きとがあることを信じつつ続けて参ります。

日本聖書神学校は、日本基督教団の6つの教師養成機関の中でも特に昼間働き夜学ぶことの出来る唯一の教団認可神学校です。1946年の創立以来74年を経過した日本聖書神学校は、これまでに750名の伝道者を輩出しており、卒業後は国内外の教会・伝道所に派遣されて福音宣教の働きに従事しています。

全世界の全ての地、とりわけ日本の福音宣教のために日本聖書神学校が豊かに用いられ、諸教会・伝道所において献身の志を与えられた多くの方々が本校に入学し霊性の涵養と神学的研鑽とを希望をもって経験されますことを、主の執り成しを祈りつつ待っています。

教員からの ひとこと

じんぼ のぞみ
神保 望 校長 (実践神学)

担当科目：宣教学、
ビーベルクンデ、他



福音とはイエス・キリストによる神の救済の出来事であり、教会は全ての人々に福音を宣べ伝えるよう、キリストから委託されています。ですから宣教学の授業は教会に委託された福音宣教の意味を理解し、過去を検証しつつ実践して行く上で不可欠な学びとなります。宣教者への備えとしての学びを、一緒に深めて参りましょう。

あらせ まきひこ
荒瀬 牧彦 教授 (実践神学)

担当科目：礼拝学、
教会音楽、他



礼拝は、ある意味、歴史と信仰と現在の生が結集するところであり、同時に、終末の祝宴の先取りです。礼拝においてわたしたちは繰り返し新しい人間とされていきます。広い視野と深い識見を持つ礼拝計画者、司式者、説教者、牧会者となっていくために学びましょう。「礼拝から神学する」喜びを共に！

いながき ちせ
稲垣 千世 教授 (旧約神学)

担当科目：旧約概論、
ヘブル語Ⅰ、他



旧約聖書は現代に生きる私たちの心と生き方に問いかけ語りかける内容を持っています。天地万物の創造主であり、生きとし生けるものの命を定めている神は人間に呼び掛けています。神の声を聞き神の声に応答して生きて行く道程の中から現れて来る神と人間の壮大な命の物語の世界に共に入って行きませんか。

すがわら ゆうじ
菅原 裕治 教授 (新約神学)

担当科目：新約神学Ⅰ、
ギリシア語、他



新約聖書を読む時、いつでも大きな信仰的・知的発見があります。そして、歩むべき方向が示されます。それは、信仰者にとって大きな喜びです。その喜びを深め、また誰かと共にするために、神学校で、新約聖書のギリシア語、概論、時代史、神学、釈義、解釈を学び、共に祈り、意見を交わしましょう。

ふるや まさよし
古谷 正仁 教授 (実践神学)

担当科目：説教学、
教会の職務、他



実践神学は聖書神学、組織神学等を基礎として、他の一般的な諸学とも対話しながら、教会の宣教を、み心に適うものに近づけるために学ぶものです。聖書神学や組織神学を学ばなければ聖書を深く理解することが出来ないように、実践神学を学ぶことなしに、教会を深く知ることは出来ません。どうぞ積極的に学んで下さい。

やなした あきこ
柳下 明子 教授 (歴史神学)

担当科目：キリスト教史Ⅰ・Ⅱ、
基礎文章理論、他



キリストの教会は、歴史を伝えることの中にアイデンティティを見出ししてきました。そしてそれは決して固定的なものではなくて、人びとの経験する危機に際しては何度でも問い直され捉えなおされ見出しなおされるべきものです。わたしたちの信仰の源を知り、受け継ぎ伝えてゆくべきものを検証して未来に向かうために、共に歴史を学びましょう。

カリキュラム

分野	基礎学			神学				その他 (全学年共通)
	聖書	神学	語学	聖書神学	歴史神学	組織神学	実践神学	
1年	・ビーベルクンデ ・新約概論 ・旧約概論 ・ギリシア語 ・新約時代史* ・旧約時代史*	・基礎文章理論 ・神学概論 ・キリスト教と文学*	・英書講読 ・ドイツ語* ・ラテン語*		・キリスト教史Ⅰ ・日本キリスト教史特講*		・キリスト教教育概論 ・フィールドスタディ	・礼拝 ・フィールドワーク (教会実習等) ・器楽 ・卒業論文
2年	・ヘブル語Ⅰ		・英書講読	・新約神学Ⅰ ・新約原典講読* ・新約釈義Ⅰ ・旧約神学Ⅰ ・旧約釈義	・キリスト教史Ⅱ ・日本キリスト教史Ⅰ ・日本キリスト教史Ⅱ* ・日本宗教史	・神学思想史Ⅰ ・組織神学特講Ⅰ・Ⅱ*	・説教 ・キリスト教教育	
3年				・新約神学Ⅱ ・新約釈義Ⅱ ・旧約神学Ⅱ ・旧約原典講読*	・アジアキリスト教史 ・キリスト教教理史	・神学思想史Ⅱ ・キリスト教倫理	・宣教学 ・礼拝学 ・説教演習Ⅰ ・牧会学 ・教会音楽	
4年				・新約学ゼミ* ・旧約学ゼミ*	・歴史神学ゼミ*	・組織神学ゼミ*	・実践神学ゼミ* ・説教演習Ⅱ ・教会カウンセリング ・精神医学特講 ・フィールドワーク・ゼミ	

*印は選択および選択必修科目

時間割

日	月・金	火～木
実習教会での フィールドワーク	【1限】 18:00～18:45 (礼拝)	【1限】 18:15～19:45
	【2限】 18:50～20:20	【2限】 19:55～21:25
	【3限】 20:30～22:00	

- ・月～金に各2コマの授業と、月曜日・金曜日に全校礼拝があります。神学生が
- ・説教や司式等を担当します。
- ・前期(4月～7月)・後期(9月～1月)のセメスター制となっています。
- ・日曜日はそれぞれの実習教会において、礼拝に出席し、教会のさまざまな行事・活動に参加しながら、実習教会牧師の指導のもとフィールドワークを行います。

科目紹介

フィールドスタディ (1年生)

教会は様々な土地で、その地域の課題とともに生きています。地域の課題を教会はどのように具体的な宣教の課題として担っているのか、学生は各自の関心に従って、教会を訪ね見学・実習して学びます。

ギリシア語 (1年生)

聖書言語は本校では必修です。新約聖書を原典で読むための基本的な文法を一年かけて学びます。講義終了時には辞書を用いてギリシア語聖書が理解できるようになることを目指します。

ヘブル語 (2年生)

聖書の言語は本校では必修です。1年生のギリシア語に続き2年生では旧約聖書の原語ヘブル語を学びます。基礎文法、発音を学ぶことを通して旧約聖書がヘブル語で読めるようになることをめざします。

新約釈義Ⅰ (2年生)

聖書本文の伝えている本来の意味を、それぞれの言葉の意味や用法、歴史的背景などを深く理解することによって引き出してゆく学びです。ギリシア語の学びののち、この段階へ進みます。

宣教学 (3年生)

聖書は宣教するということについてどのように伝えているかという基礎的な宣教の動機を学んだ後、教会の宣教の歴史を振り返り、現代において宣教とはどのような行為であるのか考えます。

教会の職務 (3年生)

教会には果たすべき職務があります。それは神の委託に基づいて、その責任を担う中で明らかにされるものです。教会の職務に牧師はいかに関わるか、特に教会の霊的指導者としての牧師の職務について学ぶ新しい領域の学びです。

牧会カウンセリング (4年生)

教会の現場に出ていくことが間近に迫った4年生が、牧会のためのカウンセリングを学びます。教会員の相談を受けるための心得や手法について、具体的な場面を題材にして一緒に考えていきます。

卒業論文 (4年生)

学校で学んできたことからのひとり一人のまとめとして卒業論文はとても大切です。神学校の学びは牧師として歩むためのスタートにすぎず、牧師の生涯は学びと共にあります。その基礎を築きましょう。

神学校の1年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入学・始業礼拝	学生自治会総会	創立記念の集い	ペンテコステ立証祈禱会	前期試験	夏期伝道実習	前期レポート提出	献身志願者の集い	オープンキャンパス	全校修養会	クリスマス礼拝	新年始業礼拝	後期試験	卒業論文発表会	後期レポート提出	卒業礼拝



全校修養会



クリスマス祝会



卒業礼拝

神学校の生活

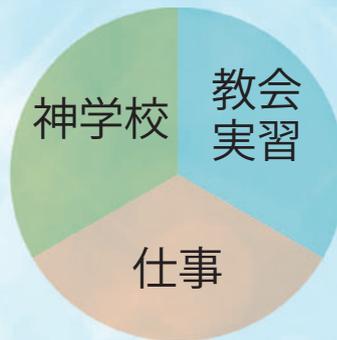
学生自治会

学生自治会は、日本聖書神学校の創立精神に基づき会員の自治により信仰の錬磨、学術の研鑽に励み、将来伝道者となる資を高め、進んで校風の発揚に寄与するために、相互の団結、親睦、互助を図ることを目的に、組織されています（学生自治会会則より）。

新入生歓迎会や卒業生を送る会などのパーティーを催したり、学術講演会の企画、会報の発行、オープン・キャンパスの企画運営に加え、カリキュラム部では、神学生が将来伝道者となるためになにか有益なカリキュラムであるかなども、教授会と共に考えています。

教会実習

昼間働き、夜学ぶ神学校です。



本校では、神学教育は教室における授業だけで完結されるものとは考えていません。将来、牧師の職務の現場（フィールド）となる教会に対する理解には、「実習教会」における「教会実習」が欠かせません。神学教育は教会の諸活動と密接に関わっているからです。そこで神学生の出席教会には、礼拝やCSはもちろん、教会の意思決定プロセス（役員会・長老会など）やその他牧師の様々な牧会実践も実習させていただきますようお願いしています。

寮生活

日本聖書神学校の学生寮は一人一部屋の個室ですので、一定のプライバシーが保たれながらも、共同生活を通して主体性、協調性、責任感などを身につける良い修練の場となっています。食事会やクリスマス会などの行事や早天祈禱会、寮会を行っており、寮生全員で協力し合って年間の計画を実施しています。

ほとんどの神学生が働きながら通う夜間の学校のため、体力的にも時間的にも厳しい環境で学ぶ神学生にとって、校舎に隣接する寮があるのはとても大切なことですし、励ましあう仲間とともに暮らすことは、とても心強いものです。

トイレ、浴室は各フロアに共同のものがありません。共同スペースは掃除当番を決めて、寮生が清掃を行います。また洗濯機・乾燥機・冷蔵庫も共用のものが備えられています。

在校生からのメッセージ

鵜崎 寿 (3年)

私にとって、一日のうちで一番嫌な時間は、勤務を終え、目白駅から神学校に向かう道のりです。遅刻しそうで、必死で走ることが多いからです。仕事と神学校の両立は、厳しい面もあり、ギリギリの毎日です。私は、ギリギリの中で、工夫しながら、最短の4年間で卒業できるよう必死で奮闘していました。

そんな中、この春、鼻の手術を受け、9日間入院しました。術後は、止血のためガーゼを鼻に詰めて数日過ごします。鼻にガーゼを詰めていると、臭いもわからず食事も味がしません。鼻で呼吸ができず、限られたわずかな期間でしたが、何もできない自分に、人間の弱さを思い知らされました。そして、そのとき気づきました。病院には、もっと大変な方がたくさんいます。人生は、自分の力でどうにもならないこともあるのに、自分は神学校での自分の人生の道を、自分の計画通りに進めようと思いついた、支配しようとしていたのです。自分の人生を自分の力でコントロールし切ろうと努力していることは、傲慢であると気づきました。

私たちは、主の宣教の働き手になりたい一心で入学しました。しかし、忘れてはいけないことは、主の御旨（ご計画）によるのでなければ、何もできないということでした。主の前に謙遜な思いをもって、学友と共に学び、示された道を歩んでいきたいと思えます。

「力を捨てよ。知れ、わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる。」(詩篇 46 編 11 節)



卒業生からのメッセージ

小林 久実 (63期・土気あすみが丘教会)

千葉市の新興住宅地にある教会に赴任して7年目を過ごしています。

2020年、新型コロナウイルスに教会も直撃されています。集うことによる感染の危険、また住宅地にある教会で近隣への配慮が必要であり、イースターより集うことを止め、たとえ礼拝堂に集うことが適わなくとも、各々の場で「礼拝をささげ、御言葉に聞き、祈る」ことを大切にしていきたい旨、説教で語り、また書面を書き、ZOOM配信、またネット環境の無い方々には、土曜日に週報と翌日の説教原稿を車で廻って届け、日曜の10時半から各々の場所で、心をひとつに合わせ礼拝をささげることをはじめました。

結果、ZOOMでは通常の3分の2に近い、20数名の人たちと顔を見て礼拝をささげることが適い、集わない中でも皆さん礼拝献金他を献げてくださり、皆がひとつになって教会と牧師を支えてくださいました。6月より再び礼拝に集うことが適っていますが、ZOOM配信は、高齢で教会に来難くなっている方々にとっての新しいアイデア、有効な対策であり続けています。

コロナは礼拝と教会の交わりの形を変えていますが、キリストにあってひとつ。イエス・キリストにあって共に生きるこの交わりの豊かさを感謝しつつ仕えています。



学びを支える 後援会

後援会活動とは？

後援会は、全国の教会、伝道所、信徒の皆さんからお捧げいただいた献金を日本聖書神学校に助成金としてお捧げしています。この助成金から神学生で経済的な支援を必要として居られる方に奨学金が拠出されています。

後援会はこれからも後援会活動の輪を全国に広げて行き神学生が経済的な不安を持つことなく安心して学ぶことが出来るように、より確かな本当の意味での後援会になりたいと願っています。

後援会は神学生を奨学金という形でお支えしていますが、後援会自身は全国の教会そして教会に連なる多くの皆様のお支えによって成り立っています。後援会が日本聖書神学校に十分な貢献をするためには日本全国の教会、伝道所の皆様のさらなる御協力が不可欠です。どうぞ福音宣教のための伝道者を輩出する日本聖書神学校そして後援会の働きを憶えて、お祈りと共に今後とも日本聖書神学校の後援会をお支え下さい。

奨学金実績（2019年度）

JBTS 奨学金	10名
信濃町教会奨学金	1名
三崎町教会奨学金	1名
小林ミチエ奨学金	1名
囑託職員奨学金	1名

合計 276万円

後援会会長からのメッセージ



後援会会長 菊池公平
(目白教会 信徒)

使徒パウロは「自分の決められた道を走りとおし、また、主からいただいた、神の恵みの福音を力強く証するという任務を果たすことができさえすれば、この命すら決して惜しいとは思いません」と力強く宣言しています。この聖書は、献身の思いをもって神学校に入学して宣教者の道に進もうかどうかと悩んで居られる方に、パウロのこのような気概を持っていなければ神学校に来てはいけないというつもりで引用したものではありません。キリスト者を迫害していたパウロは、自ら福音宣教の道に進もうと決心したのではなく、主イエスによって正にこの道を決められて走りとおしたのです。ですから様々な事情によって神学校への入学を決断できず躊躇されている方には、御自分で進路を決断するというような人の思いではなく、祈りをもって神の御旨に聞き従っていただきたいと願っています。

パウロが「主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました」と明言しているように、宣教者の道は福音を宣べ伝え、人に与えるという幸いが約束されている道です。献身の思いを持って神学校を目指そうという方々が、個々の祈りによって「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」という主の御声を聞き神様から道が指し示されるようにとお祈りします。そして一人でも多くの方が召命感を与えられ日本聖書神学校の門を叩いて下さることを心から期待しお待ちしております。

神学校へおいでください

オープンキャンパス

日程：2020年10月6日（火）

学生生活紹介、など

*神学校への受験をお考えの方はぜひご参加ください。

神学校授業体験週間

神学校の授業を実際に体験できます。

どんな授業をやっているのか興味のある方、神学校入学を考えている方は、ぜひ出席してみてください。

日時：2020年11月9日（月）～13日（金）18:00～22:00（火・水・木は18:15～21:25）

第10回 献身志願者の集い

神学校ってどんなところ、そこで学んでいる人はどんな思いでいるのだろう、ということに関心をお持ちの方は、この集いに参加されることをお勧めします。献身することの現実を感じることができるでしょう。

日程：2021年9月（または7月）

*参加希望の方は事前にお申し込み下さい
『信徒の友』にも案内を掲載します。

*体験希望の方は事前にお申し込み下さい

入学試験・募集要項

● 秋期入学試験

出願期間 2020年10月1日(木)～10月23日(金)

試験日 2020年11月6日(金)

● 春期入学試験

出願期間 2021年1月8日(金)～1月29日(金)

試験日 2021年2月18日(木)～2月19日(金)

● 受験資格

1. 大学卒業者またはそれと同等の学力を有すると本校において認められた者。
2. 受洗後2ヶ年以上の忠実な教会員であり、伝道の召命を受け、所属教会牧師と役員会の推薦するものであること。
* 日本基督教団以外の教派からの献身者も受験することができます。
* 最終学歴が大学卒業でない者にも「正科生に準じる者」として入学を許可する場合があります。
ただし、入学後、本校が必要と認める学科について所定の単位の修得が必要となります。

● 試験内容

1. 召命に関する短文(1,200字程度)
伝道者を志すに至った動機と、当神学校受験の事由を記述すること。
2. 筆記試験 旧約聖書、新約聖書、英語、小論文
3. 面接

● 出願関係書類(14は本校所定の書式による)

1. 願書
2. 最終学校の卒業証明書
3. 最終学校の成績証明書
4. 所属教会牧師・役員会の推薦状
5. 医師の健康診断書(保健所の診断項目程度)
6. 召命に関する短文
7. 受験料 20,000円

● 学 費

入学金	100,000円
授業料(年額)	264,000円
設備利用料(年額)	20,000円(1年次のみ)

入学金および授業料は分納が可能です。

● 学生寮

20名程度入寮できます(入居状況によります)。家族寮もあります。

● 奨学金

日本聖書神学校には将来伝道者となるべく献身の志を堅持しながら、経済的な理由により就学困難な者を援助するための「伝道者奨学金」があります。これは諸教会や日本聖書神学校後援会が神学生のために拠出する奨学金で、卒業後に伝道者となって教会の働きに就いた者には返済が免除されます。

交通案内



目白駅より徒歩10分



お問い合わせ

履修要項、過去問題などありますので、お問い合わせください。願書は総務部にご請求ください。

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-16

学校法人 聖經学園 日本聖書神学校

Tel: 03-3951-1101 Fax: 03-3951-3044

Eメール: jbts@jbts.ac.jp

ホームページ: <http://www.jbts.ac.jp/>